

船舶事故等調査報告書

平成26年10月23日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014広第98号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成26年5月17日（土） 11時30分ごろ
発生場所	香川県丸亀市牛島南岸 香川県坂出市所在の鍋島灯台から真方位232°4,410m付近 （概位 北緯34°21.5′ 東経133°47.2′）
事故等調査の経過	平成26年6月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 優量丸 <sup>ゆうりょう</sup> 、1.84トン
船舶番号、船舶所有者等	280-13616香川、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	船底に擦過傷、舵板及びプロペラに曲損
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、牛島南方沖において、釣りをして漂泊中、牛島南岸に拡張する岩礁に圧流されていることに気付いて西進を始めようとしたところ、平成26年5月17日11時30分ごろプロペラが岩礁に接触した。 船長は、本船が航行不能になったことを知り、海上保安庁へ118番通報した。 本船は、来援した海上保安庁の巡視艇により、丸亀市小浦港にえい航された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の末期、潮高 約211cm（青木（丸亀市広島））
その他の事項	本船は、東方に向かう潮流があったので、潮上りを繰り返していた。 船長は、牛島南岸沖に岩礁が拡張していることを知っていた。 船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、牛島南方沖において、釣りをして漂泊中、潮流に圧流されたことから、西進を始めようとしたとき、牛島南岸に拡張する岩礁に乗り揚げたものと考えられる。

<b>原因</b>	本事故は、本船が、牛島南方沖において、釣りをして漂泊中、潮流に圧流されたため、西進を始めようとしたとき、牛島南岸に拡張する岩礁に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
<b>参考</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 漂泊して釣りをを行う場合には、潮流による圧流を考慮して岩礁などの浅所から隔てたところで漂泊し、自船と浅所との距離を確保すること。</li></ul>